（添付資料1）

***（注）添付資料1は外部有識者による事前審査に付されますので、審査材料として十分な内容を記述してください。ただし、外部有識者に提出したくない内容は、本紙には概要のみを記入し、詳細は添付資料4に記載してください。（この場合、本紙に記入する概要が簡略すぎると、評価者の判断材料が不足し、評価が低くなる恐れがあるので注意してください。）***

助成事業実施計画書

**１．実施計画の細目**

(1)事業目的、目標及び事業による効果

①事業目的

***マーケットの現状及び将来の規模、競争環境等について具体的かつ簡潔に説明してください。***

②事業目標

***技術開発の目標と現状の水準との対比を数値で記入するなど、具体的かつ簡潔に説明してください。この目標が妥当であることを記載してください。また、国内外の技術動向や既存の技術との関連等について、具体的かつ簡潔に説明してください。***

***さらに、ＮＥＤＯの基本計画を達成するために基本計画と技術開発テーマとの関係ならびに技術開発テーマがもたらす、設定された目標の達成に対する有効性について、できるだけ定量的に記述してください。***

***共同提案の場合、それぞれの理由等を明示してください。***

　　③事業による効果

***一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。***

(2)事業概要

***(3)事業内容の概要を簡潔に記載してください。***

***本事業において確立する要素技術について、実証を行う飛行レベル１、２、３、４に対して物流、警備、点検、災害等のユースケース等について、以下から該当するものを具体的に記載してください。***

***・ユースケース***

***・飛行レベル***

***・単一空域、複数空域***

***・自動飛行、自律飛行***

***・実証場所***

***・UASSP***

***・機体タイプ（固定翼、マルチロータ、ＶＴＯＬ）***

***・機体認証の有無***

***・運航者(パイロット、補助者等の合計) 対 機体数：○対△***

(3)事業内容

***①××××の検討（担当：□□□株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***②××××の試験（担当：△△△株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***③××××の設計（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***④××××の製作（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑤××××の開発（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑥××××の飛行実証（担当：国立研究開発法人▽▽▽）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑦××××の海外調査（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***(1)②の事業目標を達成するために必要な技術開発の内容を記載してください。技術開発で克服すべき課題とその問題を解決する手段、今回の開発で達成できるレベルを、明確にかつ簡潔にできるだけ図表を使用して記入してください。***

***共同提案の場合、それぞれの役割分担等を明示してください。***

***また、提案する技術開発内容の新規性、独創性、優れていると考えられる点を記載してください。***

***提案には必ず飛行実証の項を設け、助成事業期間内に実施する実証実験の概要を１つ以上記載してください。記載する実証実験は、1対多運航のカテゴリーⅡあるいはカテゴリーⅢのユースケースを設定し、想定する環境、運航オペレーション並びに運航に必要な運航管理システム及び機体等を明確にしたうえで、検証する内容（飛行申請、トラブル対応等）、実現にいたる課題を明確にし、解決を図る手段を示し、安全に運航可能である旨を記載してください。***

***要素技術を開発する際の要求仕様は、1対多運航のユースケースで想定する安全運航を実現する仕様を満たす内容としてください。***

***本事業における有用な実証結果については、事例として広く一般へ共有します。***

**２．実施計画**

***事業の提案に際して必要と考えられる場合は、連携先として自治体、機体メーカ等を記載願います。***

***上記「１.(3)事業内容」であげた***

***各技術開発項目の実施計画***

***を記載してください。***

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業項目 | Ｎ１年度 | | | | Ｎ２年度 | | | | Ｎ３年度 | | | |
| 第1  四半期 | 第2  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 | 第1  四半期 | 第2  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 | 第1  四半期 | 第2  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 |
| ***①×××の検討***  ***②×××の試験***  ***③×××の設計***  ***④×××の製作***  ***⑤×××の開発***  ***⑥×××の飛行実証***  ***⑦×××の海外調査*** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

***提案には助成事業期間における要素技術の開発、1対多運航オペレーションの検討、許可承認、実証実験等のスケジュールが分かるように記載してください。***

**３．研究開発体制等**

　(1)研究開発体制図

○○○株式会社

（○○○○を委託）

（○○○○を委託）

（○○○を共同研究）

△△△株式会社

国立大学法人□□□大学

国立研究開発法人▽▽▽

【委託先】

【助成先】

【共同研究先】

(2)助成先における研究体制（別紙1）

(3)委託先及び共同研究先における研究体制（別紙1）

(4)委員会等における外部からの指導又は協力者（別紙1）

**４．助成事業に要する費用の内訳等**

　(1)全期間総括表（別紙2）

　(2)助成先、研究分担先、分室総括表（別紙2）

　(3)委託先、共同研究先総括表（別紙2）

　(4)項目別明細表（別紙2）

別紙1



別紙1





別紙2



*（注）*

*※各年度の「助成対象費用の合計」を記入して下さい。*

*※委託先又は共同研究先は、助成先の「助成対象費用の合計」の内数として、委託先等の「助成対象費用の合計」を（ ）書きで記載してください。*

*※助成金の額は、千円未満の端数を切り捨てること。*

別紙2



*（注）*

*※共同提案の場合、提案者毎に作成してください。*

*※項目毎に「助成対象費用」を記入して下さい。*

別紙2



*（注）*

*※「委託費・共同研究費」、「学術機関等に対する共同研究費」の場合は、事業者毎に「委託先、共同研究先総括表」を作成して下さい。*

*※Ⅰ～Ⅳについては項目毎に「助成対象費用」を記入して下さい。消費税及び地方消費税についてはⅠ～Ⅳに対応する消費税額を記入して下さい。*

*※RA（リサーチ・アシスタント）を研究員として登録することができます。詳しくは、課題設定型産業技術開発費助成事業　事務処理マニュアルを参照してください。*

別紙2



*（注）*

*※複数年度交付決定の場合、年度毎に作成してください。また、共同提案の場合、提案者毎に作成してください。*

*※細目ごとに金額(単価×数量)を記述してください。記載する金額は、消費税抜きとします。*

*※「助成対象費用」には、「助成事業に要する費用」のうち、助成対象とする部分の金額を記入してください。一般には、「助成事業に要する費用」と同額です。*

*※「助成金の額」には、様式第1に記述の補助率に従い、「助成対象費用の合計」に補助率を乗じて千円未満を切捨てた金額を記入してください。*

別紙2



*（注）*

*※「委託費・共同研究費」、「学術機関等に対する共同研究費」の場合は、事業者毎に「項目別明細表（委託・共同研究先用）」を作成して下さい。*

*※複数年度交付決定の場合、年度毎に作成してください。*

*※細目ごとに金額(単価×数量)を記述してください。記載する金額は、消費税抜きとします。*

*※「助成対象費用」には、「助成事業に要する費用」のうち、助成対象とする部分の金額を記入してください。一般には、「助成事業に要する費用」と同額です。*

*※「助成金の額」には、様式第1に記述の補助率に従い、「助成対象費用の合計」に補助率を乗じて千円未満を切捨てた金額を記入してください。*